



## 「みんなで減らそう レジ袋チャレンジ」 レジ袋をもらわない人の割合を6割に！

近年、海洋プラスチックごみ問題を含めて環境問題が深刻さを増し、国内の取組の一環として7月1日にレジ袋有料化が施行されました。

現在、環境省では「レジ袋チャレンジ」キャンペーンを実施しています。

これは、レジ袋有料化をきっかけとして、プラスチックごみ問題について考えていただき、まずは日々の買い物でマイバッグを持参して、レジ袋を辞退することが当たり前になる、そういった一人ひとりのライフスタイルの変革を目指すキャンペーンです。

### レジ袋チャレンジの目標：レジ袋をもらわない人の割合を6割に！

2020年3月時点で環境省が行ったアンケートでは、店頭でレジ袋を1週間1枚ももらわなかった人の割合は約3割でした。12月時点で倍の6割を目指しています。

できるだけ無駄なレジ袋を少なくし、環境問題解決の一步となるよう、普段の生活への意識を高めていきましょう。



〈取り組み内容については環境省HPをご確認ください〉

<http://plastics-smart.env.go.jp/rejibukuro-challenge/>

おうみはちまんエコ通信

## 「買うならエコ！」グリーン購入について

夏号

グリーン購入とは、買い物などの時に購入の必要性を十分に考え、「買うなら」できるだけ環境への負荷が少ない「エコ」なものを購入することです。

近江八幡市ではごみ減量のための取組として次の「5R」を推進しています。

- Reduce (リデュース) : ごみになるものを減らす
- Reuse (リユース) : ものをくり返し大事に使う
- Recycle (リサイクル) : もう一度資源として活用する
- Refuse (リフーズ) : 過剰な包装は断る
- Regenerate (リジェネレート) : 再生品を使う



グリーン購入に取り組むことが、この5Rの取組にもつながります。

身近なグリーン購入の例を挙げると、「必要なものを必要な分だけ買う」「長く使えるかどうか、を最重視して選ぶ」「容器や包装の少ない、ごみの出にくいものを選ぶ」「グリーンマーク・エコマーク等目印になるマークがついているかチェックする」など今すぐできるものばかりです。

また、「買うならエコ！」を合言葉に、滋賀県と県内市町がリレー形式でパネル展示を行っています。近江八幡市では9月7日(月)～10日(木)に市役所1階ロビーで展示を行いますので、ぜひご覧ください。